

ワカメ養殖情報第6号(平成29年3月2日)

- 3月2日の定地水温は、野田湾で7.2°C(過去平均差+1.0°C)、船越湾で8.1°C(過去平均差+2.0°C)、広田湾で7.6°C(過去平均差+0.4°C)となっています(図1)。
- 尾崎沖から金華山沖の30~90海里(56~167km)にかけて、冷水域が形成されています(図2)。
- 2月28日の県南地区における葉長の測定結果は、191cmでした(図3)。
- 県南部湾内定点の栄養塩濃度は、平年よりも低めですが、特に問題ないレベルとなっています(2/28)。
- 栄養塩や水温の動きに注意し、漁協が提供する栄養塩情報を参考にしてください。

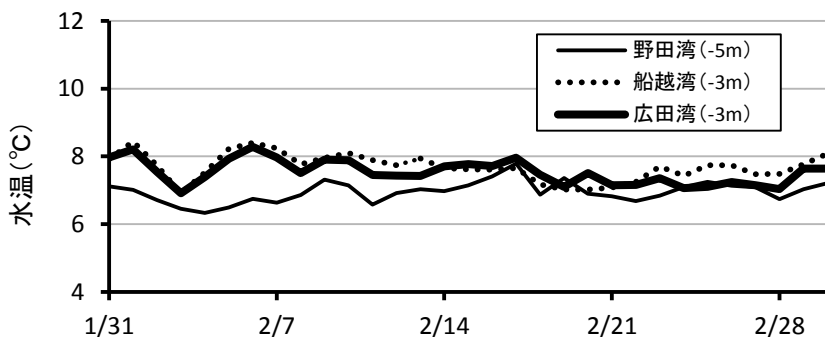


図1 野田湾、船越湾及び広田湾における水温(午前10時)の推移(直近1ヶ月)

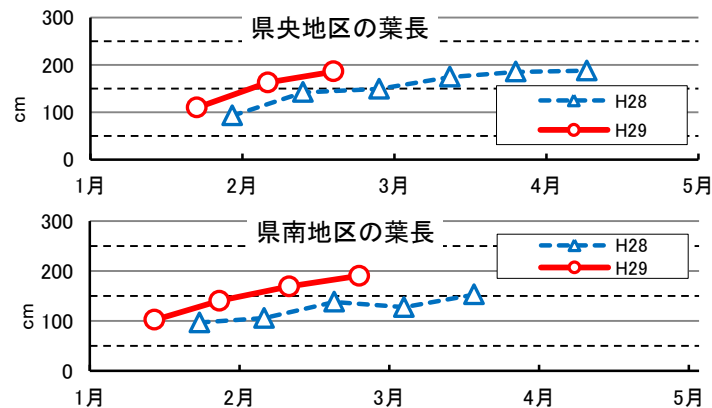


図3 ワカメ葉長の推移

(単位 μg/L)

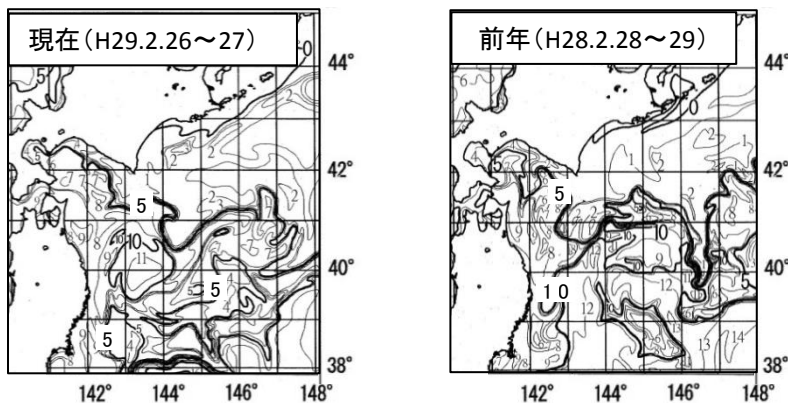


図2 表面水温図(H29海況速報No.8、H28海況速報No.9より)

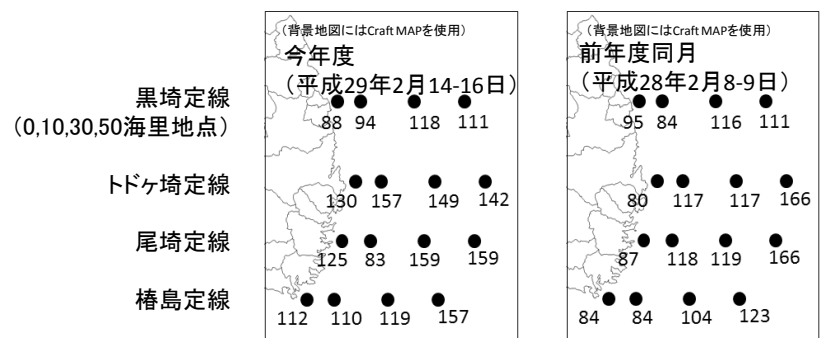


図4 本県沖合における栄養塩の表層分布

※湾内自動水温観測装置(定地水温観測システム)の設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発、沖合栄養塩の分析は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。